

(財)女性のためのアジア平和国民基金

**第94回理事会
第75回運営審議会**

平成19年2月

関係資料

新聞切り抜き
「慰安婦」・戦後問題関連
1

新聞切り抜き
女性・人権問題関連
2-4

米国下院慰安婦決議関連
5-13

「河野談話見直しを」

慰安婦問題

自民「考える」会 政府に提言へ

自民党の「日本の前途と歴史教育を考える議員の会」(会長・中山成彬、元文部科学相)が9日、党本部で会合を開き、従軍慰安婦問題、旧日本軍の関与を認め謝罪した03年の「河野洋平首脳長官談話」の見直しを求める提言を今月中にも取りまとめ、安倍晋三首相に提

づける狙いがある。保守色の濃い中堅・若手議員を中心に約20人が出席し、南京虐殺事件や河野談話について意見交換。終了後、中山元文科

◆歴史認識に関する各党の主な勉強会◆

名 称	代表者	狙 い
日本の前途と歴史教育を考える議員の会(自民)	中山 成彬 元文部科学相	首相支持派の保守層の意向を反映した歴史認識構築
アジア外交・安保ビジョン研究会(自民)	加藤 純一 元幹事長	安倍政権に批判的なハト派議員の受け皿づくり
アジア戦略研究会(自民)	逢沢 一郎 衆院議運委員長	旧自派系3派の再結集に向けた足場に
日本の近現代史調査会(民主)	藤井 裕久 前代表代行	民主党内での歴史認識共有を図る

相や中山衆議院議員が記者会見し「慰安婦はあったとしても、従軍慰安婦はあり得ない」(中山衆議院議員)などと指摘、安倍内閣として河野談話に代わる新たな路線を出すべきなどの考えを示した。首相は昨秋の臨時国会で「河野談話を『政府の基本的立場』として『受け継いでいる』と表明している。歴史認識をめぐることは、自民党内にハト派議員が集まる勉強会もある。安倍政権の失速が続けば、これらグループが『ポスト安倍』をにらんで活動を活性化させる可能性もある。

【平元英治、新藤達生】

2007. 2. 10 毎日(朝)5面

南滿州鉄道(満鉄)や満州国の歴史的的位置を議論するシンポジウム「満洲」とは何であったのか」が1月31日、東京都新宿区の早稲田大で開かれた。満鉄研究者の小林英夫同大教授とドイツやロシアの研究者が旧満州(現中国東北部)を囲む情勢を語り、満鉄は東アジア共同体と対米関係にまで広がった。昨年は満鉄創立100年で関連書の出版が続いたこともあり、会場は満州出身者を含む約170人で超満員となった1写真。

最初に小林氏が基調講演し、沿線に鉱山や文化施設などを持つ「ミニ国家」だった満鉄を、満州国がいわば吸収した歴史を描いた。1931年の満州事変前の動きを、「日本には満州での急激な中国人の増加に対する危機感もあり、欧米の対中協同と反対の道を歩んだと分析した。

続いて、青木保同大教授を司会に小林氏ら5人が討論した。満州国は官僚主導の統制経済が特徴的で、これが戦後日本に引き継がれ、高度経済成長を支えた

シンポジウム「満洲」とは何であったのか」 170人参加し議論白熱

と宮られる。和田春樹東大名誉教授は「この仕組みは旧ソ連の5カ年計画をモデルにしている」と語った。また、第二次大戦時のフランス・ヴィシー政権も似た経済政策をとったことを、剣持久木静岡県立大助教授が示した。原田勝正和光大教授は、満鉄の特色「あじあ」号は新幹線の原型だったとして、戦後の技術面での連続性も強調した。

一方、木畑和子成城大教授は、満州国の亡命ユダヤ人政策について「米や独への対策でしか動いていない。人道的対応の欠如は、今の日本の難民政策にもつながるのではないかと指摘した。

その後、和田氏が「五族協和」や「大東亜共栄圏」といったスローガンを引き合いに「侵略を総括したうえで過去を振り返り、東アジアや北東アジアの共同体構想の參考にすべきだ」と力説した。

アジアの共同体構想では、米国との距離感をめぐる議論が続いている。小林氏は和田氏の言葉を受け、「満州の歴史を、日露戦争後、この地域で米国の影響力を排除したことから始まった」と述べ、「当時を参考にしつつ、米国の力をどう認識し活用すべきかを考える」とは、北東アジアの将来を考えると非常に重要だ」と議論を締めくくった。【鈴木英生】



2007. 2. 5 毎日(4) 4面

私の視●点



この10年以上のあいだ、日本社会は「開国」を始める戦争を引き受けてきた。ある意味、その「開国」の印象を与えられてきた。小泉首相の靖国参拝における戦没者の慰霊と戦争責任の問題。昨年改正された教育基本法。憲国心をめぐる論議。1990年代の元慰労婦への償いの是非。いろいろな問題が起ころうにわたしたちは、過去への反省をめぐり、リベラルと、そうした二内を批判する「愛国派」との対立を呈せつけられてきた。多々のメディアはこの

大沼保昭 東京大教授(国際法)

◆ 歴史認識と愛国心

国民の感覚を大事に

[illegible]

2007. 2. 12
FRI

ホンダ米下院議員(民、カリフォルニア)提案の決議案(H. RES.121)
(仮訳)

日本国政府は、1930年代から第二次世界大戦中にかけてのアジアと太平洋諸島の植民地及び戦時中支配の期間中において、世界に「慰安婦」として知られている若い女性を日本帝国軍隊が強制的に性的奴隷化した歴史的な責任を明確で曖昧でない形で公式に認め、謝罪し、受け入れるべきであるとの下院の意思を表明するため、また、その他の目的のための決議

(pp.1) 日本国政府は、1930年代から第二次世界大戦中にかけてのアジア及び太平洋諸島の植民地及び戦時支配の期間中において、世界に「慰安婦」として知られる、若い女性を日本帝国軍隊が強制的に性的奴隷化したことに対する歴史的な責任を明確で曖昧でない形で公式に認め、謝罪し、受け入れるべきであるとの下院の意思を表明するがゆえに、

(pp.2) 日本国政府は、1930年代から第二次世界大戦中にかけてのアジア及び太平洋諸島の植民地及び戦時支配の期間中に、日本帝国軍隊に対する性的な労役という唯一の目的のために、世界に「慰安婦」として知られることとなった若い女性を確保することを公式に委認したがゆえに、

(pp.3) 日本国政府による強制的軍売春である「慰安婦」制度は、輪姦、強制的中絶、屈辱的行為、性的暴力が含まれるかつて例のないものであり、身体の損傷、死亡、結果としての自殺を伴う20世紀最大の人身売買事案の一つであったがゆえに、

(pp.4) 日本の学校で使用されている新しい教科書の一部は、「慰安婦」の悲劇や他の第二次世界大戦中の日本の戦争犯罪を矮小化しようと試みているがゆえに、

(pp.5) 日本の公務員や民間の要職にあるものが、近年、慰安婦の苦難について、心からのお詫びと反省を表明した1993年の河野内閣官房長官談話の内容を覆めたり、撤回したりすることを願望する旨表明しているがゆえに、

(pp.6) 日本国政府は、婦人及び児童の売買禁止に関する1921年条約に署名し、武力紛争が女性に与える独自の影響を認識する2000年の女性、平和及び安全保障に関する国連安全保障理事会決議1325号を支持したがゆえに、

(pp.7) 下院は、人間の安全保障、人権、民主主義的価値及び法の支配の促進に向けた日本の努力、並びに、国連安全保障理事会決議1325号を支持していることを評価し、

(pp8.) 下院は、日本の公務員や一般の市民の尽力と同情心により 1995 年に日本の民間財団であるアジア女性基金の設立に至ったことを評価し、

(pp.9) アジア女性基金は日本国民から「償い」を慰安婦に行うために、570 万ドルを集めたがゆえに、

(pp10.) アジア女性基金は、政府が創始し、主に政府により資金提供された民間の財団であり、その目的は、「慰安婦」の不当な扱い及び苦痛にに対する償いのための諸事業を実施することであるが、基金のマンドートが 2007 年 3 月 31 日に終了し、基金はその日に解散するがゆえに、

米国下院の考えとして、日本政府が、

(1) 1930 年代から第二次世界大戦中にかけてのアジア及び太平洋諸島の植民地及び戦時中支配の期間中において、世界に「慰安婦」として知られる、若い女性を日本帝国軍隊が強制的に性的奴隷化したことに対する歴史的な責任を明確で曖昧でない形で公式に認め、謝罪し、受け入れるべきであり、

(2) かかる公式の謝罪を日本の首相がその公的立場において声明として公にするべきであり、

(3) 日本帝国軍隊による「慰安婦」の性的奴隷化や人身売買は決してなかったとのいかなる主張に対しても明確かつ公に反論すべきであり、

(4) この恐るべき罪について、現在及び未来の世代に対して教育し、同時に、「慰安婦」に関する国際社会の勧告に従うべきである、

ことを決議する。

共同提案者

エドワード・ロイス(共、カリフォルニア)

クリス・スミス(共、ニュージャージー)

ディアンヌ・ワトソン(民、カリフォルニア)

デビッド・ウー(民、オレゴン)

フィル・ハーレ(民、イリノイ)

マデレーン・ホルダーロ(民、グアム)

(2 月 1 日現在。ホンダ議員のホームページによる。)

(7)

米国下院慰安婦決議に関するホンダ議員の議会声明(仮訳)

2007年1月31日

議長、私は今日、1930年代から第二次大戦継続中のアジアと太平洋諸島の植民支配および戦時占領の期間において、日本の帝国軍の下で想像を絶する非人間化に苦しんだ、20万人を超えるアジアの「慰安婦」に対する強い支持のうちに起立しております。

この女性たちの体験は、そのむごたらしさにおいて前例を見ないものであり、日本政府によって公的に遂行されたものでありますが、彼女たちは集団強かん、強制中絶、屈従、またやがて身体切除、死や結果的自殺に至る性暴力に耐え忍びながら、今日に至るまで、この悲劇から正義を得ることができておりません。

(彼女たちの望みはささやかなものです。日本政府がこの犯罪に対する完全な歴史的責任を、認め、謝罪し、受け入れることなのです。

本日、私は、日本に対し第二次大戦中にその帝国軍の下で慰安婦が耐え忍んだ悲劇について、正式に、かつ曖昧さのない形で、謝罪し、認めるよう求める決議を提案いたします。日本国の総理大臣が公式謝罪を発表すべきであるばかりでなく、日本が、曖昧さのない形で責任をとらなければなりません。

(このような決議が果たして必要かどうか疑念をもち、わが国と日本の間の強い友情と同盟関係に影響を与えるのではないかと警告する者もあります。日本はすでに謝罪したのであり、この決議はその認識を欠いていると論じる者さえあります。確かに、これまでに日本の複数の首相が慰安婦に関連する声明を発表してきたことはほんとうです。しかしながら、日本政府がこれらの声明を、明白な敬意をもって見ているわけではないことは明らかです。また慰安婦たち自身がこれらを公式の謝罪とは認めておりません。日本はこの問題に関する自己の立場を曖昧なものにしてきました。このことは、過去の声明や教科書を変更しようとする最近の複数の試みによって明らかとなりました。

(例えば 1993 年、当時の河野洋平官房長官は日本の慰安婦について有望な声明を出しました。彼女たちの受難に対する日本政府の真摯な謝罪と後悔【訳注―「おわびと反省」の英訳はこのようなニュアンス】を表明したものでした。今日、日本の自由民主党には、河野官房長官の声明を見直し、可能ならば撤回さえしようと奮闘する人たちがいるのです。

さらに日本政府は、日本の教科書において「慰安婦」制度を軽視しようとし続けています。私たちは自らに問わなくてはなりません、もし日本がほんとうに自らの過去を受け入れ、自らの帝国軍がこの女性たちに何を行なったかを認めているならば、何故彼らは、教育を通じてこの知識を抑え込もうとするのか？と。この悲劇に関する教育は、今後女性に対する暴力が、特に紛争時において、決して受容されるべきでも繰り返されるべきでもないことを確保するために重要です。教科書の抑圧は、河野長官の声明を見直そうとする努力と合わせて、落胆させられるものであり、日本がこの女性たちに対する謝罪について揺らいでいることを示しています。

私がここで明確にしておきたいのは、私が我々と日本の間の強い友情の重要性を認識し評価して

いることであります。私は、アジア女性基金を通じて慰安婦生存者に金銭的賠償を行おうとした日本の努力を評価しております。アジア女性基金とは政府によって着手され資金の多くを政府に負う民間基金であり、その目的は「慰安婦」に対する償いをねらいとしてプログラムやプロジェクトを実行することでありました。アジア女性基金は2007年3月31日をもって解散することとなっております。私は、アジア女性基金が重要であったということには同意しますが、現実には、大多数の慰安婦生存者がこれらの資金の受け取りを拒否したということであり、日本政府からの、疑いの余地も曖昧さもない謝罪がなければその金は彼女たちにとって意味をなさなかったということなのです。

この決議の目的は、日本をへこませたり辱めたりすることではありません。この惨劇を生き延び今もまだご存命の数少ない女性たちのため、正義を達成することについてのものなのです。我々は、これほど長い年月の間知られずにきたこの重大な人権侵害を、認識しなくてはなりません。

さらにこの決議は、和解を促進し助けることを目指しています。米国議会がかつてHR442号、1988年の公民権法を採択したときのようにです。これは、第二次世界大戦中に不正義にも抑留所に収容された日系米国市民に対する公式の謝罪でした。年少の頃に収容所に入れられた人間として私は、自分自身のこととして、我々は過去に対して無知であってはならないこと、政府の行為を通じての和解は長期にわたる効果を持つことを知っております。

議会でこの問題を前進させることについて、我が良き友であったレイン・エヴァンズ元議員の努力に触れることなくしては、不注意のそしりを免れないでしょう。私は、誇りをもってレインから渡されたたいまつを掲げ、慰安婦のみなさんと、またこの問題を米国議会が取り上げるよう彼女たちのために懸命に努力した数々のコミュニティとに希望をもたらしたことについて、彼を称えるものであります。

議長、率直に申すならば、世界中でこの重荷とともに生きる数少ない慰安婦生存者は、今や亡くなりつつあります。我々は、この決議を進めることによって、彼女たちがいくらかでも心の平安を得られるようにしなくてはなりません。この残虐行為を生き抜いた女性たちにとって、この決議は、我々の国家が彼女たちを支持し、彼女たちの正義を求める声に耳を傾けていることを示すものなのです。

岡典子訳、強制連行メーリングリストより転記

Congressman
MICHAEL M. HONDA
15th DISTRICT, CALIFORNIA



For Immediate Release
January 31, 2007

Tuesday, February 6, 2007 1:06 PM
Contact: Daniel Kohns: 202.225.3
daniel.kohns@mail.house

REP. HONDA CALLS ON JAPAN TO APOLOGIZE FOR WWII EXPLOITATION OF 'COMFORT WOMEN'

Introduces Bipartisan Measure Seeking Justice for Victims of Wartime Sexual Slavery

Washington, DC – Today, Representative Michael M. Honda (CA – 15) introduced a bipartisan resolution before the U.S. House of Representatives calling on the government of Japan to formally and unambiguously apologize for and acknowledge the tragedy that comfort women endured at the hands of its Imperial Army during World War II. More than 200,000 such women suffered gang rape, forced abortions, and other humiliations under Japan's colonial and wartime occupation of Asia and the Pacific Islands from the 1930s through the duration of World War II.

Upon introducing the legislation, Honda noted, "I would like to emphasize in the strongest terms that the purpose of this resolution is not to bash or humiliate Japan," he said. "This legislation, rather, seeks to achieve justice for the few remaining women who survived these atrocities, and to shed light on a grave human rights violation, that has remained unknown for so many years."

The resolution is cosponsored by: Representatives Edward R. Royce (CA – 40), Christopher H. Smith (NJ – 4), Diane E. Watson (CA – 33), David Wu (OR – 1), Phil Hare (IL – 17), and Delegate Madaleine Bordallo (GU).

Rep. Honda's statement, entered into the Congressional Record upon introduction of the measure, and the full text of the resolution follow:

Rep. Honda Statement for the Congressional Record Regarding Comfort Women Resolution:

January 31, 2007

"Madam Speaker, I rise today in strong support of the over 200,000 'comfort women' in Asia who suffered

Congressman

MIKE HONDA
15th DISTRICT CALIFORNIA



For Immediate Release
January 31, 2007

Tuesday, February 6, 2007 :: 6

Contact: Daniel Kohns: 202.225.3
daniel.kohns@mail.house,

REP. HONDA CALLS ON JAPAN TO APOLOGIZE FOR WWII EXPLOITATION OF 'COMFORT WOMEN'

Introduces Bipartisan Measure Seeking Justice for Victims of Wartime Sexual Slavery

Washington, DC -- Today, Representative Michael M. Honda (CA -- 15) introduced a bipartisan resolution before the U.S. House of Representatives calling on the government of Japan to formally and unambiguously apologize for and acknowledge the tragedy that comfort women endured at the hands of its Imperial Army during World War II. More than 200,000 such women suffered gang rape, forced abortions, and other humiliations under Japan's colonial and wartime occupation of Asia and the Pacific Islands from the 1930s through the duration of World War II.

Upon introducing the legislation, Honda noted, "I would like to emphasize in the strongest terms that the purpose of this resolution is not to bash or humiliate Japan," he said. "This legislation, rather, seeks to achieve justice for the few remaining women who survived these atrocities, and to shed light on a grave human rights violation, that has remained unknown for so many years."

The resolution is cosponsored by: Representatives Edward R. Royce (CA -- 40), Christopher H. Smith (NJ - 4), Diane E. Watson (CA - 33), David Wu (OR - 1), Phil Hare (IL - 17), and Delegate Madaleine Bordallo (GU).

Rep. Honda's statement, entered into the Congressional Record upon introduction of the measure, and the full text of the resolution follow:

Rep. Honda Statement for the Congressional Record Regarding Comfort Women Resolution:

January 31, 2007

"Madam Speaker, I rise today in strong support of the over 200,000 'comfort women' in Asia who suffered

unimaginable dehumanization by the Japanese Imperial Army during Japan's colonial and wartime occupation Asia and the Pacific Islands from the 1930s through the duration of World War II.

"These women, whose experiences were unprecedented in cruelty and were officially commissioned by the Government of Japan, endured gang rape, forced abortions, humiliation, and sexual violence resulting in mutilation, death, or eventual suicide—and to this date, they have still not received justice from this tragedy.

"Their hope is a modest one: That the government of Japan acknowledges, apologizes and accepts full historic responsibility for this crime.

"Today, I am introducing a resolution which calls on Japan to formally and unambiguously apologize and acknowledge the tragedy which the comfort women endured under its Imperial Army during World War II. Not only should Japan's Prime Minister issue a public apology, Japan must take responsibility unequivocally.

"Some question whether this resolution is necessary and warn that it could affect our nation's strong friendship and alliance with Japan. Some even argue that Japan has already apologized, and this resolution fails to recognize that. It is true that Japan's previous Prime Ministers have issued statements related to comfort women. However, it is clear that these statements are not viewed by the government of Japan with unequivocal respect, and the comfort women themselves do not consider them formal apologies. Japan has equivocated in its stance on this issue, which is made clear in their recent attempts to alter previous public statements and their school textbook

"For example, in 1993, Japan's then Chief Cabinet Secretary Yohei Kono issued an encouraging statement regarding Japan's comfort women, which expressed the Government's sincere apologies and remorse for their ordeal. Today, some members of Japan's Liberal Democratic Party strive to review and even possibly rescind Secretary Kono's statement.

"Further, the Japanese government continues to seek to downplay the comfort women system in its textbooks. We must ask ourselves, if Japan has truly come to terms with its past in acknowledging what its Imperial Army forced upon these women, why are they suppressing the knowledge of this through education? Education on the tragedy is important to ensure that future violence against women, especially in conflicts, should not be tolerated or repeated. Textbook suppression, coupled with efforts to revise Secretary Kono's 1993 statement, is disheartening and indicates that Japan wavers in its apology to these women.

"I want to make it clear that I recognize and value the importance of our strong friendship with Japan. I appreciate Japan's efforts to provide monetary compensation to surviving comfort women through the Asia Women's Fund, a government initiated and largely government-funded private foundation whose purpose was the carrying out of programs and projects with the aim of atonement for the comfort women. The Asia Women's Fund is to be disbanded on March 31, 2007, and while I agree that the Asia Women's Fund was important, the reality is that the majority of surviving comfort women refused to accept these funds, and that without an unambiguous and unequivocal apology from the government of Japan, the money was not significant to them.

"The purpose of this resolution is not to bash or humiliate Japan. This is about achieving justice for the few remaining women who survived this atrocity. We must recognize this grave human rights violation, which has remained unknown for so many years.

"Further, this resolution is intended to encourage and provide for reconciliation, as the U.S. Congress did when passed H.R. 442, the Civil Liberties Act of 1988, which was a formal apology made to U.S. citizens of Japanese ancestry who were unjustly put into internment camps during World War II. As someone who was put into an internment camp at a young age, I know firsthand that we must not be ignorant of the past, and that reconciliation through government actions is long lasting.

"I would be remiss if I failed to recognize the efforts that my good friend and former colleague Lane Evans made to push this issue forward in Congress. I am proud to be carrying the torch that Lane passed on, and commend him for the hope he has instilled in the comfort women and the communities that have worked so hard on their

behalf by bringing this issue to Congress.

"Madam Speaker, to put it frankly, the few surviving comfort women in the world who live with this burden are dying. We must help them achieve some peace of mind by moving this resolution forward. For the women who survived this brutality, this resolution demonstrates that our nation supports them and hears their voices calling for justice."

Text of Honda Comfort Women Resolution:

110TH CONGRESS

Expressing the sense of the House of Representatives that the Government of Japan should formally acknowledge, apologize, and accept historical responsibility in a clear and unequivocal manner for its Imperial Armed Force's coercion of young women into sexual slavery, known to the world as "comfort women", during its colonial and wartime occupation of Asia and the Pacific Islands from the 1930s through the duration of World War II.

Whereas the Government of Japan, during its colonial and wartime occupation of Asia and the Pacific Islands from the 1930s through the duration of World War II, officially commissioned the acquisition of young women for the sole purpose of sexual servitude to its Imperial Armed Forces, who became known to the world as *ianfu* or "comfort women";

Whereas the "comfort women" system of forced military prostitution by the Government of Japan, considered unprecedented in its cruelty and magnitude, included gang rape, forced abortions, humiliation, and sexual violence resulting in mutilation, death, or eventual suicide in one of the largest cases of human trafficking in the 20th century;

Whereas some new textbooks used in Japanese schools seek to downplay the "comfort women" tragedy and other Japanese war crimes during World War II;

Whereas Japanese public and private officials have recently expressed a desire to dilute or rescind the 1993 statement by Chief Cabinet Secretary Yohei Kono on the "comfort women", which expressed the Government's sincere apologies and remorse for their ordeal;

Whereas the Government of Japan did sign the 1921 International Convention for the Suppression of the Traffic in Women and Children and supported the 2000 United Nations Security Council Resolution 1325 on Women, Peace, and Security which recognized the unique impact of armed conflict on women;

Whereas the House of Representatives commends Japan's efforts to promote human security, human rights, democratic values, and rule of law, as well as for being a supporter of Security Council Resolution 1325;

Whereas the House of Representatives commends those Japanese officials and private citizens whose hard work and compassion resulted in the establishment in 1995 of Japan's private Asian Women's Fund;

Whereas the Asian Women's Fund has raised \$5,700,000 to extend "atonement" from the Japanese people to the comfort women; and

Whereas the mandate of the Asian Women's Fund, a government initiated and largely government-funded private foundation whose purpose was the carrying out of programs and projects with the aim of atonement for the maltreatment and suffering of the "comfort women", comes to an end on March 31, 2007, and the Fund is to be disbanded as of that date: Now, therefore, be it

Resolved, That it is the sense of the House of Representatives that the Government of Japan—

(1) should formally acknowledge, apologize, and accept historical responsibility in a clear and unequivocal manner for its Imperial Armed Force coercion of young women into sexual slavery, known to the world as "comfort women", during its colonial and wartime occupation of Asia and the Pacific Islands from the 1930s through the duration of World War II;

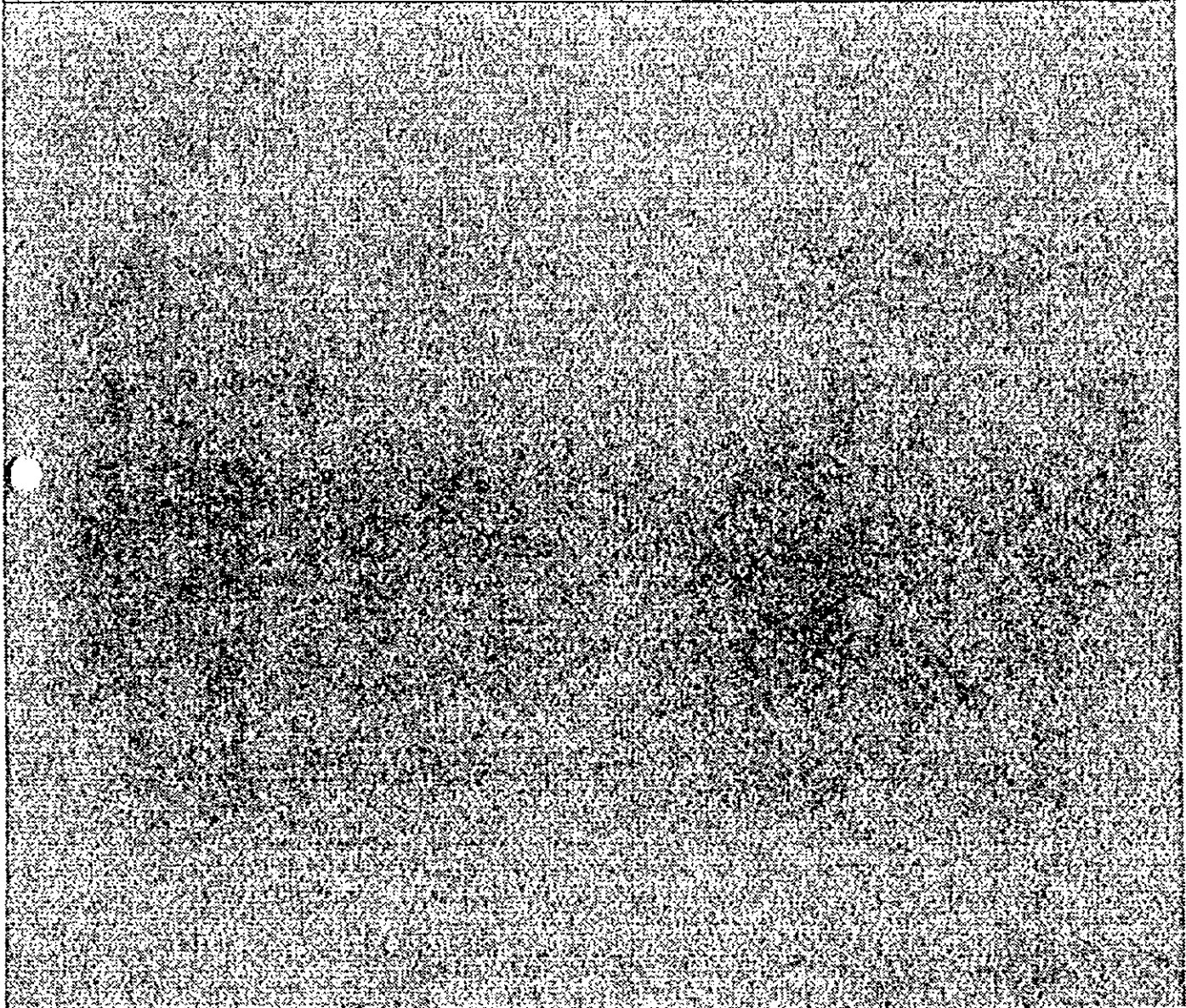
(2) should have this official apology given as a public statement presented by the Prime Minister of Japan in his official capacity;

(3) should clearly and publicly refute any claims that the sexual enslavement and trafficking of the "comfort women" for the Japanese Imperial Armed Forces never occurred; and

(4) should educate current and future generations about this horrible crime while following the recommendations of the international community⁷ with respect to the "comfort women".

###

[Home](#) | [Latest News](#)



日本版NSC

「ミニ安保会議」に

安全保障の範囲は未整理

8日午会が決まった日本版NSC（国家安全保障会議）は、当初、形が化けぬ安全保障の会議を断じし、国家の安全保障問題を迅速・機動的に決定する米国並みの本格的な独立機関を作るはずだったが、わずか3カ月の議論で「ミニ安保会議」を作るだけに終わった。内閣支持率が下がると、参院向けの「実現づくり」を優先させた

からだ。構想を提唱した安倍晋三首相は最後まで安保会議設置法の改正に異議を唱えず、「そもそも何が安全保障問題なのか」も設立目的もはっきりしないままだ。

構想は、首相が昨秋の自民党総選で自派政策に掲げたのが端緒。形が化けぬ指図される安全保障会議を断じするなど「歴史に残る大改革」（官邸機能強化会議メンバー）をイメージしていた。

ところが、結果は安保会議の機能や内閣官房の組織は温存したまま、10人規模の事務局新設という「現行組織の最小限の改編」（内閣官房幹部）に。首相補佐官の権限を強化する内閣法改正

も見送り、改編のための安保会議設置法の改正にとどまる。構想が大幅に後退・縮小したのは、拙速でも形にする方を選んだからだ。大規模改革に乗り出せば、もともと「NSCの必要性を感じない」（内閣官房幹部）と、権限の拡散を警戒していた内閣官房や外務省など関係省庁が反発するのは明らかだった。

NSCで取り扱う「安全保障」の範囲も整理されなかった。前環境相の小池百合子首相補佐官は「気候温暖化やエネルギー戦略も対象とする意向。強化会議座長の石原盛雄元官房副長官は「鳥インフルエンザを議題にする考

日本版NSCのイメージ

議長（首相）	副議長（首相補佐官）
少人数委員会	事務局（事務局長）
首相官邸	外務省
防衛省	官邸補佐官
スタッフ事務局	



国家安全保障に関する官邸機能強化会議にのぞむ（左から）小池国家安全保障問題担当首相補佐官、石原盛雄、安倍首相、塩崎恭久官房長官ら＝首相官邸で8日午後5時33分、藤井太郎撮影

えを示す。首相官邸内からは「そんなことまでやる必要はない」（政府関係者）との異論が噴出し、議論はまとまらないまま放り出された。こうした状況に、複数

を目指しているが説明しなくてはならぬ。構想が先行したのが実情で、「箱」が作られても機能するの不安を残す結果となった。【古本陽子】

旧日本軍の性暴力と被害



映画「ガイサンシー」に出演する被害女性の一人の横顔写真

題名のガイサンシーとは、美ぼうの持ち主で、山西第一の美人「麗山」心機しかつた実在の人物。西という中国語に由来する。彼女と彼女を死な

日中戦争当時の中国山西省



班監督は「彼女たちの不幸な戦争体験をヤミに葬ってはいけぬ。歴史として記録したかった」と語っている。「四国」

日中戦争時の中国・山西省に駐屯した旧日本軍による民間女性に対する性暴力とその被害について10年の歳月をかけて証言を集めた長編ドキュメンタリー映画「ガイサンシーとその姉妹たち」(班監督)が完成した。完成披露上映会と記念シンポジウムが17日千代田区神田神保町にある全通ホールで開かれる。

班監督・長編 10年かけ証言集める



若いころのガイサンシーを証言をもとに描いた映画のチラシ

イクシオンによる作家活動もしてきた。

で続け、完成に近づけた。班さんは「平和構築のためには、被害女性たちの証言を聞き出すことが必要だ」と語っている。

「ガイサンシーとその姉妹たち」

17日千代田区「ガイサンシーとその姉妹たち」上映会とシンポジウム。当日は

に付けられた呼び名で、映画に「彼女たちの不幸な戦争体験をヤミに葬ってはいけぬ。歴史として記録したかった」と語っている。映画を監督した班さん(38)は中国留學の出身。87年に来日。上智大学大学院を修了後、中国留學仲間と知り合った日本軍元兵士たちと知り合った。当日は

午後1時半、同3時20分、同6時半からの3回上映。同6時10分から班監督、同映画に出演している元日本兵、映像ジャーナリスト・熊谷真志さんの3人をパネリストとする記念シンポジウムがある。

映画とシンボルの当日券は2500円(映画のみは1800円)。問い合わせは製作・配給元のシグロ(03・5343・3101)。

2007. 2. 12 毎日(朝) 27面

中国人を演じ続けた李香蘭

数奇な生き様浮き彫り

李香蘭（山口淑子）を演じた「日本入りのあやかし」が、日本映画界に大きな波紋を呼んだ。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。

テレビ東で11日から2夜連続ドラマ



1933年2月に撮影された川島芳子（右から2人目）

李香蘭（山口淑子）を演じた「日本入りのあやかし」が、日本映画界に大きな波紋を呼んだ。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。



海映女傑時代の李香蘭（右）

李香蘭（山口淑子）を演じた「日本入りのあやかし」が、日本映画界に大きな波紋を呼んだ。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。

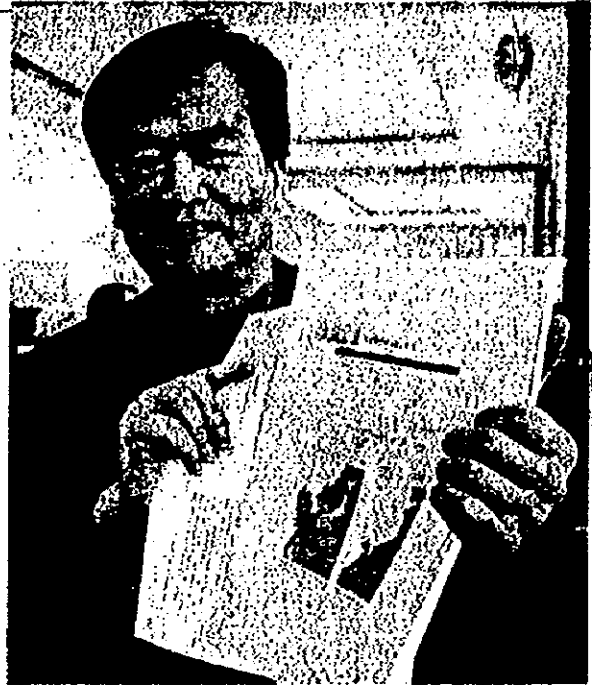
李香蘭の誕生から日本引き揚げまでの歩み		
年次	李香蘭（山口淑子）	内外の出来事
1920年	旧奉天（現遼寧省瀋陽市）行先で生まれ、まもなく漢口へ移住	1月 ベルサイユ条約批准 9月 関東大震災 大惨状 28年 張作霖暗殺
23年		8月 張作霖暗殺
28年		8月 張作霖暗殺
31年	張作霖、リョバ・モノソフ・グリーネツと知り合う	9月 張作霖暗殺
32年	平頂山事件を目撃	3月 満洲国建国宣言 5-15事件
33年	有線電報の暗号の暗となり「李香蘭」の中国名をもらう	2月 満洲国建国宣言
34年	奉天放送局にスカウトされ、歌手・李香蘭としてデビュー	3月 日本、国際連盟脱退
37年	川島芳子と知り合う	7月 盧溝橋事件 日中戦争勃発 8月 満洲映画協会設立
38年	満洲映画協会に女優としてスカウトされ「麗月映演」でデビュー	
39年	「白雲の歌」で長谷川一夫と共演	9月 第二次世界大戦始まる
40年	「支那の夜」「熱海の誓い」に出演	9月 日独伊三国同盟
41年	東京でのリサイタルで「日露七回り半事件」	6月 露ソ同盟 12月 露独同盟 太平洋戦争勃発
43年	中国映画「萬世流芳」に出演「死闘歌」が中国全土でヒット	
45年	新聞が「李香蘭が李香蘭の脱出計画」と報道	3、5月 東京大空襲 8月 終戦 満洲国滅亡
48年	軍事裁判所法廷で無罪宣告 国外退去となり帰国	



左から父・山口文雄（横浜）、山口淑子（李香蘭）、李香蘭（上）

李香蘭（山口淑子）を演じた「日本入りのあやかし」が、日本映画界に大きな波紋を呼んだ。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。李香蘭は、日本映画界に数奇な生き様を浮き彫りした。

2007. 2. 5
毎朝 13面



6日、ソウル市内で出版前の刷りを手にする鄭在寅教授＝福田要撮影

日韓、歴史認識ひとつに

【ソウル＝福田要】日本と韓国の歴史認識の溝を埋めようと、両国の歴史研究者や教員が十年がかりで製作した高校生向けの副読本が二日、日韓で同時出版される。先史から現代までを網羅した交流史を共通の教材とする試みは前例がなく注目を集めそうだ。

大学教員らが副読本を製作

出版されるのは「日韓歴史共通教材 日韓交流の歴史」。東京学芸大とソウル市立大の研究者を中心に三十六人が執筆を分担したが、すべての内容について徹底的に討論して修正を重ね、共通の歴史認識に基づく一つの文庫に練り上げた。両国

出版されるのは「日韓併記も、あえて避けた。歴史共通教材 日韓交流の歴史」。例えば、豊臣秀吉の朝鮮出兵について、韓国側から「責任を秀吉一人に負わせるのは疑問」との指摘が出て、名称は「日韓の歴史」に決まった。一般に、歴史の活動も紹介した。一般に、歴史の活動も紹介した。一般に、歴史の活動も紹介した。

10年かけて、溝埋める

一九二〇年の日韓併合書籍としても市販され、経緯を詳述。合法、非合法から製作に携わるソウルの市立大の鄭在寅（チヨン・ジェジョン）教授（ま）は「これまでの両国の教科書とは違う内容に、二つの国が事実に基づいて一緒に歴史を語り、書くことができるという実例を、韓韓編や反日論を唱える人々に示したい」と話している。

2007. 2. 4 東京